

## いのちを守る 子宮頸がん等、 ワクチン接種の公費助成が決定



門川市長に平成23年度予算要望を提出(平成22年11月24日) 詳しくは2面を参照してください

昨年12月10日の京都市会本会議で、補正予算が可決成立。本年1月11日より、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種が始まっています。

昨年5月に実施した署名運動に協力いただいた約20万名もの市民の声が、大きな力となったのです。子育て世代の

方々をはじめ、多くの市民の皆さんから喜びの声が寄せられています。

受診可能な医療機関や対象者など、詳しい内容は、**京都いつでもコール**(電話075-661-3755/年中無休8:00~21:00)か、**京都市保健医療課**(電話075-222-4421/平日8:45~17:30)にお問い合わせください。

激動の2011年の幕が開きました。本年は、官僚主導の中央集権から市民生活に身近な地方分権へ、時代の舵を大きく切る画期的な年。市民本位の京都市政を進めるため、議会の役割と使命は大きいと確信します。

公明党京都市会議員団は、市民にと

導ご鞭撻をお願い申し上げます。

公明党京都市会議員団一同

新しい年を  
力強くスタート

つて開かれた議会への改革を進め、議会基本条例の制定をはじめ、長期ビジョンに裏付けられた具体的な政策提言を重ね、現場第一で地域を走り、真剣勝負の言論

❖ 接種無料となったワクチン ❖

種類	接種開始年齢等	接種回数
① 子宮頸がん	中学1年生相当から高校1年生相当の女子(22年度の対象は平成6年4月2日~10年4月1日生まれ)	3回(初回から1カ月の間隔で2回目、初回から6カ月の間隔で3回目) ※平成6年4月2日~7年4月1日生まれの場合、無料で3回接種を受けるためには、22年度中に接種を開始する必要があります
② ヒブインフル エンザ菌b型	2カ月齢以上 7カ月齢未満	4回(4~8週間<医師が必要と認めた場合は3週間>間隔で3回、3回目から概ね1年の間隔で1回)
	7カ月齢以上 1歳未満	3回(4~8週間<医師が必要と認めた場合は3週間>間隔で2回、2回目から概ね1年の間隔で1回)
	1歳以上5歳未満	1回
③ 小児用肺炎球菌	2カ月齢以上 7カ月齢未満	4回(1歳になるまでに27日以上の間隔で3回、3回目から60日以上の間隔で1回)
	7カ月齢以上 1歳未満	3回(27日以上の間隔で2回、2回目から60日以上の間隔で、1歳になった後に1回)
	1歳以上2歳未満	60日以上の間隔で2回
	2歳以上5歳未満	1回







吉田孝雄議員は、議会改革のうねりを起こす議員提案による政策条例制定の意義を強調。11月17日に公布された「京都市自転車安心安全条例」の本格的施行にあたり、交通安全教

**自転車安心安全 条例の具体施策を**



よしだ たかお  
**吉田孝雄 議員「上京区」**

**代表質問**

平成22年11月25日、京都市会定例会議の一般質問で、吉田孝雄議員(上京区)が公明党市会議員団を代表して登壇。市民目線の政策を提言しました。

育の実施と自転車走行環境整備の充実を求めました。

門川市長は、地域主権時代にふさわしい条例と高く評価し、広報周知と具体的施策の実施を約しました。

**空き家対策を急げ**

また、市内各地で空き家が「危険家屋状態」とな

**教員の事務作業を軽減するべき**

実および他都市の条例を研究すると答弁しました。

教員の事務作業が増え、子どもと向き合う時間を確保できにくい実状への対策として、最新のIT技術を駆使した「クラウドコンピューティング方式」を提案し、教育長から前向きな答弁を引き出しました。

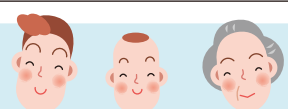
また、市内各地で空き家が「危険家屋状態」となつて地域に不安を与えている実態を指摘。空き家の流通を促進するとともに、放置状態の廃屋には毅然と対処するべきと論じ、市長はモデル事業の充

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 自転車安心安全条例の施行について
- 児童虐待防止の具体的な取り組みについて
- うつ対策としての認知行動療法導入について
- 教員の事務作業軽減について
- 空き家対策について
- 買い物難民・医療難民対策について



**平成23年度・京都市予算編成に対する要望**



公明党市会議員団は、平成22年11月24日、京都市予算編成にあたり142項目の要望を提出しました。

厳しい経済状況のなか、財政健全化を見ずえるとともに、市民生活を守り、希望あふれる地域社会を築くための施策を提案しています。

**I. 未来にはばたく京都**

**1 京都創生・未来のまちづくり**

- ・新京都市基本計画の充実と市政改革の推進。
- ・市民に開かれた「景観政策」の充実。
- ・梅小路公園の再整備を機に、都市部のまちづくりを活性化。

**2 環境先進都市**

- ・京都市地球温暖化対策条例に基づき、低炭素社会を実現。
- ・「DO YOU KYOTO?」を合言葉に、環境教育推進と環境家計簿の普及促進。

**3 市民に愛される市政**

- ・コンプライアンス(法令順守)を強化し、市政に対する市民の信頼を取り戻す。
- ・指定管理者制度の公平化への改善を促進。
- ・新たな人材育成に全力。民間企業経験者の採用も充実。



**II. 住みつづきたい京都**

**4 産業・経済の活性化**

- ・中小企業への金融支援の更なる充実。
- ・環境エネルギー政策やコンテンツ産業政策を推進。
- ・農林業振興施策の推進とナラ枯れ対策を強化。

**5 観光の振興**

- ・質量ともに充実を図り、慢性的な交通渋滞を解消。

**6 交通・住まいの充実**

- ・公共交通優先の「歩いて楽しいまち」実現へ全力。
- ・「パーク・アンド・ライド」の推進。
- ・地下鉄1日5万人増客目標の達成。
- ・駅ナカビジネスの充実。
- ・高齢者対応型の住居改善施策の拡充。

**7 都市基盤の整備**

- ・電柱の地中埋め込み事業の推進。
- ・「自転車総合計画」を着実に推進。

**8 安心・安全のまち**

- ・「京都市消費生活基本計画」に基づく、きめ細かな相談体制の構築。
- ・市立病院の地方独立行政法人化を機に、市民のための病院としての意識改革。

**9 文化・生活の充実**

- ・DV支援センターの充実とワークライフバランスの実現。



・岡崎地域活性化基本計画の推進と動物園事業の充実。

・自転車走行マナーの向上・自転車損害賠償保険の啓発・商店街の自転車事故防止事業の支援。

**III. ひとりひとりが輝く京都**

**10 福祉**

- ・介護施設基盤整備と介護従事者の待遇改善を強化。
- ・認知行動療法をはじめとする「うつ病対策」を拡充。
- ・細菌性髄膜炎を予防するワクチン接種の助成制度を継続。

**11 高齢者**

- ・介護予防サービスの充実と高齢者再就職のためシルバー人材センターを充実。
- ・高齢者の虐待防止対策を強化。

**12 若者**

- ・学生のまち京都の力を発揮する施策の充実。
- ・若者の雇用対策や自立支援を強化。

**13 子育て・教育**

- ・チャイルドファースト社会の構築に向けて、子育て支援を推進。
- ・保育所・学童クラブの待機児童ゼロ対策を強化。
- ・児童虐待対策の充実。
- ・教員の資質と指導力を向上し、事務軽減やメンタルヘルスサポートを強化。



**京都いつでもコール**  
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問い合わせにお答えする窓口です。  
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」「ご要望」などを  
公明党京都市議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732

●FAX:075(212)3608

●ホームページ:

公明党京都市会

検索

